

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年6月5日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅲ》</p> <p>夜間中学における教育活動充実に係る調査研究</p> <p>ア 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらい分校の特別の教育課程について <p>ウ 環境整備に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらい分校の生活について <p>エ その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらい分校の体験入学の在り方について ・みらい分校の学校行事について
調査研究のねらい	<p>松戸市教育委員会では「学びたい方が、学べる環境づくり」を目指し、松戸市ならではの教育文化を創造していきたいと考えている。</p> <p>昭和53年度以降、都内夜間中学への進学を希望した1名以外には、義務教育未修了者は存在していなかった。また、中学校を卒業した市民の学習希望のニーズには、生涯学習の場に対応してきた。しかし、義務教育修了者の再入学が認められるとともに、法整備等が進んだことにより、学校教育における学びのセーフティネットの拡充が必要であると考え、平成29年2月に夜間中学を開設することを表明した。</p> <p>過去2年間は、文部科学省委託事業を活用し、夜間中学の設置に注力してきた。平成29年度は、基本構想計画を立て、関係機関との協議を進め、開設場所を決定した。平成30年度は、生徒募集、就学事務整備、特別の教育課程の検討、校舎改修工事等、開設に向けた様々な諸条件の整備を一つひとつ着実に進めてきた。平成31年4月に松戸市立第一中学校みらい分校が開校した。新しい時代の新しい夜間中学として、ここからが本当の意味での出発となる。開校後は、みらい分校との連携を密にし、教育委員会と学校と歩調を合わせて本研究に当たる。</p> <p>みらい分校の生活に順応するためには、生徒も職員も一定の期間を要することが想定されるため、上半期は生徒の実態把握に努めることを主眼に置き、各研究事項に取り組んでいく。</p> <p>本研究では、みらい分校の生活ルールが、生徒たちへ定着するよ</p>

	<p>う、可能な範囲で多言語翻訳を行う。また、普段の学校生活とは異なる環境での体験活動のため、バスを利用した校外行事を実施する。そして、開校初年度の総括的な成果物として、記念文集を作成する。手探り状態の1年間となることが予想されるが、本研究を通して、みらい分校独自の教育活動を構築し、充実させていく。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>【令和元年10月25 日】 松戸市立第一中学校みらい分校校外学習業務 佐原方面へのバスを利用した校外学習 東日観光株式会社 松戸支店支店長 黒鷲伸二</p> <p>生徒用「学校生活について」15か国語翻訳 (中国語 韓国語 英語ベトナム語 タガログ語 ミャンマー語 ポルトガル語 ペルシャ語 ヒンディー語 ネパール語 タイ 語 スペイン語 インドネシア語 モンゴル語 ロシア語)</p> <p>学校案内印刷「研究紀要」</p>
<p>報告書添付書類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業収支決算書 (別添イ) ・ 委託契約書第23条に定める支出を証する書類の写し ・ 事業の実施に伴い作成した成果物 <p>① 生徒用「学校生活について」 (15か国語) 【成果物①】 ② 「研究紀要」 【成果物②】</p>